設計内容説明書【一戸建て住宅(鉄骨造)用】

(第一面)

建築物の名称	
建築物の所在地	
設計者氏名	
審査員氏名	

※の欄を設計者が記入のこと

次の側を取引有が記入りこ						
認定事項	確認項目		設計内容説明欄		設計内容	
		項目	設計内容	記載図書	確認欄	
	構造躯体	鋼材の厚さ(最小)	一般部	□ 仕様書		
の劣化対策			□ 鋼材の厚さに応じた防錆措置が講じられている □ その他	□ 断面図		
			柱脚部 注:地階を除く最下階の柱脚部が対象	□ 矩計図		
			□ 鋼材の厚さに応じた防錆措置が講じられている □ その他	□ 伏図等		
			その他 注:柱・梁・筋かい以外の部分に使用されている鋼材			
			□ 鋼材の厚さに応じた防錆措置が講じられている □ その他			
	床下防湿	防 湿 方 式	・ 防湿方法 □ コンクリート (厚 mm)	□ 矩計図		
	換気措置		□ 防湿フィルム (厚 mm)	□ 基礎伏図		
			防湿フィルムの場合	□ 仕上表		
			材料()	□ カタログ		
			認定番号()			
		換 気 措 置	□ 基礎部の開口			
			(外周部の設置間隔 m)			
			(開口高さ mm、幅 mm)			
			□ ねこ土台			
			(有効面積 cm²/m、高さ mm)			
			□ 基礎断熱工法 ※一部基礎断熱工法の場合も含む			
			断熱材の種類・厚さ 熱抵抗値			
			(m²•K/W)			
	小 屋 裏	小屋裏換気	・ 給気口の位置(□ 矩計図		
			・ 換気口の位置(□ 立面図		
			・ 換気口の面積の天井面積に対する割合	□ 仕上表		
			(1階)	□ 計算書		
			(2階)	□ カタログ		
			(3階)			
			□ 小屋裏無 (□ 屋根断熱 □ その他)			
	点 検 空 間	床 下 措 置	・床下空間への措置 点検口 (□ 有 □ 無)	□ 平面図		
	の 確 保	床下空間	・床下有効高さ(mm)	□ 伏図		
		小屋裏空間	・小屋裏空間への措置 点検口 (□ 有 □ 無)			
	構造部材等	建築基準法上の	□ 構造部材の耐久性(令第37条)	□ 仕様書		
		関 係 規 定	□ 構造方法に関する補則(令第80条の2)			

※の欄を設計者が記入のこと

初春市市	76/국지구도 디						設計内容説明欄	*	設計内容
認定事項	確認項目			項目			設計内容	記載図書	確認欄
2.耐震性	構造躯体	構	告	計算	算 方	法	□ 限界耐力計算	□ 仕様書	
							□ 保有水平耐力計算(ルート3)	□ 伏図等	
耐震等級							□ 許容応力度等計算(ルート2)	□ 計算書	
(倒壊等防止)							□ 許容応力度計算(ルート1)		
							□ その他の計算方法		
□ 等級 3									
_ □ 等級 2							□ 認定書等の活用		
		限	界	耐	力計	算	□ 各階の安全限界変形の基準に適合		
		,,,,				,			
その他(地震	免 震	免	震	建	築	物	□ 平成12年建設省告示第2009号第1第3号による免震建築物		
に対する構造		, ,	/	_	>10	,,,	□ 大臣認定書の活用 □ その他		
躯体の倒壊等							□ 免震層及び免震材料の維持管理に関する図書の作成		
防止)									
1971L)									
3.可変性							【 (一戸建て住宅のため該当なし)		
J. J&II							- / 在 (下 ロッ/にがMコ/なU)		
4.維持管理·	専用配管	コン	/ カ	· 1J	— Ъ	内	排水管 (□ 無 □ 有)	□ 仕上表	
更新の容易性					配	管		□平面図	
文材の日初は		<u>, </u>	~	• /	HL		· 給湯管 (□ 無 □ 有)	□ 矩計図	
	地中埋設管	±₩ d	i +11	一部	答	· D	・排水管 (□ 無 □ 有)	□仕上表	
	地下生队日						・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	□ 平面図	
				9	1. 1.		, – –		
							・給湯管 (□ 無 □ 有)		
							□ 条例等の規定により凍結防止のための配管埋設		
	ᆂᇚᆈᆈ	ا مالد	. AA	<i>∞</i> /=	+ 13 14	44 144	が定められている地域		
	専用排水管	排水	、官	() I	有 拥 打	首直		□配置図	
							□ 排水桝に隣接 □ 掃除口 □ 洋風便器を取り外し		
							・その他の水まわり		
	LII. I. Art on						□ トラップ □ 掃除口		
	排水管の 性状等	排力	く管	等	の内	」面	□ 平滑である(仕様等:)	□ 仕様書	
	総手及び						□ その他()		
	ヘッダーを	設	置	Ì	状	態			
	含む)						措置()		
							□ その他()		
	配管点検口					<i>€</i> Ø		□ 平面図	
		点	検	ì	措	置			
							・給水管と設備機器の接合部		
							□ 露出 □ 開口有□ その他()		
							・給湯管と設備機器の接合部		
							□ 露出 □ 開口有 □ その他()		
							・給水管のバルブ及びヘッダー		
							□ 露出 □ 開口有 □ その他()		
							給湯管のバルブ及びヘッダー		
		L					□ 露出 □ 開口有 □ その他()		<u> </u>
5.高齢者等							(一戸建て住宅のため該当なし)		
配慮対策									
(共用部分)									

※の欄を設計者が記入のこと

認定事項	確認項目	設計内容説明欄 ※						
心足事項	作的"只口	項目	設計内容	記載図書	確認欄			
6.省エネル	適用する	適用する基準	□ 非住宅・住宅計算方法					
ギー対策	基準		□ 住宅仕様基準					
	躯体・開口	断熱材の種類と厚さ	屋根()	□ 仕上表				
「断熱等性	部の断熱		天井 ()	□ 矩計図				
能等級」	性 能 等		壁 ()					
			床:外気に接する部分()					
()地域			その他の部分()					
			土間床等の外周部					
			外気に接する部分 ()					
			その他の部分(()					
		窓・ドア等の断熱性	建具形態 建具・ドア枠の材質・形状、ガラスの種類・構成等	□ 仕上表				
			() (□ 平面図				
		窓・ドア等の日射	方位 ガラスの日射熱取得率等 ひさし・軒・付属部材等	□ 仕上表				
		遮 蔽 措 置	() () ()	□平面図				
		非住宅・住宅 外皮平均	□ 外皮平均熱貫流率U _A	□ 計算書	•			
		計算方法を熱貫流率						
		適用する場合 冷房期の		1				
		平均日射	<u> </u>					
		熱取得率	,					
		住 宅 仕 様 適用条件	開口部比率()	□ 仕様書				
		基準を適用躯体の	□ 熱貫流率の基準に適合	□ 仕上表				
		する場合性能等	□ 断熱材の 熱抵抗値の基準に適合	□ 矩計図				
			開口部比率の区分					
		断熱	□ 区分(い) □ 区分(ろ) □ 区分(は) □ 区分(に)					
		性能等	□ 緩和措置あり					
			□ 窓の断熱(2%緩和) □ 窓の日射(4%緩和)					
	結 露 防 止	繊維系断熱材		□ 仕様書				
	対 策		・ 防湿層の設置 (□ 有 □ 無)	□仕上表				
		防湿層の設置	□除外規定適用()	□矩計図				
			・通気層の設置 (□有 □無)					
		通気層の設置						
			□ 除外規定適用 ()					
	認 5	· 書 等	□ 認定書等の活用	1				
7.住宅の規模	住宅の	住 宅 の 面 積	住宅の専用面積 () m²	□ 求積図				
	面積		40㎡以上ある階					
			() 階 () ㎡					
			うち階段部分の面積 () ㎡					
8.維持保全			期間 ()年以上	□申請書				
の方法			□ その他の基準への適合	□ 維持保全				
				計画書				
9.資金計画			□ 建築に要する費用の設定	□申請書				
			□ 維持保全に要する費用の設定					
				-				